

# 八郎たいむず

☆学校教育目標  
気づく目・感じる心を持ち  
主体的に行動する  
生徒の育成

## 令和三年度の スタートを振り返る

早いもので、来週早々一学期の終業式を迎えます。令和三年度も慌ただしくスタートし、慌ただしく進んでいます。

振り返ってみると、やはり『コロナ』の影響は外せません。体育大会は今年度も二学期に延期され、昨年度から繰り延べられた三年生の修学旅行も二転三転し、八月に県内という形になりました。ちなみに二年生の修学旅行先も県内となりました。

教育週間も規模を縮小し、地域の方に協力していただいていたペーロン体験も実施できませんでした。

しかし、昨年度より少しだけよくなったこともありまし。

市中総体は応援に制限こそかけられましたが実施され、野球部と男子ソフトテニス部は県大会出場を勝ち取りました。また、陸上部・水泳部から計七名の選手が個人として県大会に出場することになりました。存分に力を発揮すると同時に、土井中生として堂々たる姿を示してほしいと思います。

また、二・三年生は四月当初に実力テスト、全学年六月末には期末テストを実施しました。行事やその他の取組は変更等強いられることとなりましたが、学生の自分である勉強はおろそかにできません。部活動を引退した三年生は頭を切り替えて受験生としての意識を持つてくだ

さい。一・二年生にとっても受験は遠い先のことではありません。ましてや今の成績も受験に大きく影響してくるので、そのことを忘れず、夏休み中も計画的に一学期の復習に取り組んでください。

そして忘れていけないのは土井中の伝統の継承です。

地域クリーンデーや空き缶デーの取組で地域や社会に貢献する姿勢を養い、ワンストップあいさつで人間性も高めています。ワンストップ、レベルを上げて下さい。時折、地域の方から「地域では今一

つあいさつができていませんよ」という声を聞くこともあります。学校だけでなく、地域でも家庭でもしっかりとあつてくださ



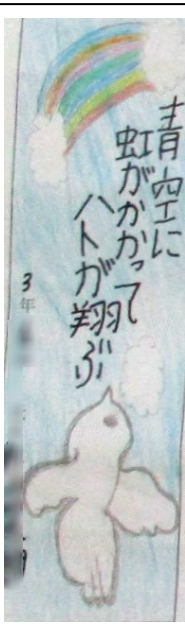
思えば今年も半分以上経過し、今年度も三分の一が終わったことになり、今年度も確実に過ぎていきます。生徒のみならず、先生も確実に成長を遂げてくださいます。そのためのエネルギーを蓄える夏休みとなることを期待しています。

## 人のため自分のため:

木曜日のことです。来校された民生委員さん方に授業の様子を見ていただきました。国語でスピーチをしているクラスあり。社会で平和学習のまどめを書いているクラスあり。半紙に向き合って一生懸命書写に取り組むクラスありと、中学校の「いつも」をありのまま見ていただきました。民生委員の方々からは「校舎内が静かですね」「小学校のとき、あんなに幼かったあの子が、あんなに立派になっていて、感心しました」等々お褒めの言葉を頂戴しました。

そして、用事が済んで民生委員の方々を見送った後、たまたまとおりがかかった一年生の教室の所で、廊下の窓が開まっていたところに気づきました。私が開けようとしたところ、近くにいた二人の女子(三組と四組の生徒でした)が「私たちが開けます」と言っていて、代わりに窓を開けてくれました。高い位置にあつたので、手が届かかなと思つたのですが、ジャンプしながら上手に開けてくれました。授業に懸命に取り組むこと、自分の仕事ではないのに窓を開けてくれること、これらは自分のためでもあり、人のためでもあります。小さな気づきや取組の積み重ねが、その人を作り上げます。「土井中の生徒さんは立派ですね」と人から認められることもあれば、自分の行いにだれも気付いてくれないこともあるでしょう。でも、「私は人のため、自分のためにこういうことをした」ということは、「自分」が知っています。自分に恥じない、自分に誇れる生き方をしたいものです。

## 一言



いろいろなことがあつた二学期でしたが、明るい二学期にしてほしいですね。それは自分次第です。